

交付限度額算定表(その1)

可児市南西地区 (岐阜県可児市)

要綱第5に掲げる式による交付限度額(X)	227.6 百万円	規則第16条第1項に基づく交付限度額(Y)	289,620.0 百万円	X Yゆえ、本計画における交付限度額	227.6 百万円
----------------------	-----------	-----------------------	---------------	--------------------	-----------

規則第16条第1項に基づく限度額算定

Au	4,189,500 m ²
-----------	--------------------------

公共施設の上限整備水準

区域面積 (m ²)	9,310,000
当該区域の特性に応じて国土交通大臣が定める割合	0.50
区域の面積が10ha未満の地区	0.45
最近の国勢調査の結果による人口集中地区内	0.40
その他の地域	0.40

Cl	200,500 円/m ²
-----------	--------------------------

単位面積あたりの標準的な用地費

標準地点数	1
公示価格の平均値 (円/m ²)	42,100

単位面積あたりの標準的な補償費

当該区域内の戸数密度 (戸/m ²)	0.001
標準補償費 (円/戸)	44,000,000

Cf	23,000 円/m ²
-----------	-------------------------

控除額	4,073 百万円
------------	-----------

まちづくり交付金とは別に国庫補助事業等により整備する施設

施設名(事業名)	面積(m ²)	国庫補助事業費等(百万円)
可児市運動公園整備事業	119000	4061
交通安全施設等整備事業	560	12
合計	119560	4073

Ap	1579595 m ²
-----------	------------------------

公共施設の現況整備水準

整備水準が明らかになっている類似市街地等からの推定	
推定現況整備水準(小数第2位まで)	
推定公共施設面積(m ²)	0

個別公共施設の積み上げ	
--------------------	--

	面積(m ²)	割合
道路	1,383,280	0.15
公園	191,315	0.02
広場	5,000	0
緑地	-	-
公共施設合計	1,579,595	0.17

Cnを考慮しない場合の交付限度額(Y1)	289620 百万円
-----------------------------	------------

Cn	0 円
-----------	-----

下水道	0 円
区域面積(m ²)	9,310,000
うち現況の供用済み区域面積(m ²)	
標準整備費(円/m ²)	3,600

地域交流センター等の公益施設(建築物)	0 円
上限床面積(m ²)	9,400
標準整備費(円/m ²)	422,100

調整池	0 円
調整池の容積(m ³)	
標準整備費(円/m ³)	140,000

河川	0 円
河川整備延長(m)	
標準整備費(円/m)	3,700,000

住宅施設	0 円
-------------	-----

建設予定戸数(戸)	超高層	
	一般	
	合計	0
標準整備費(円/戸)	超高層	一般
	北海道特別地区	41,310,000
	北海道一般地区	38,190,000
	特別地区	49,120,000
	大都市地区	37,170,000
	多雪寒冷地区	41,510,000
	奄美地区	39,520,000
	沖縄地区	30,280,000
	一般地区	33,700,000

市街地再開発事業による施設建築物	0 円
-------------------------	-----

施設建築物の延べ面積(m ²)	
標準共同施設整備費(円/m ²)	132,000

電線共同溝等	0 円
---------------	-----

電線共同溝等延長(m)	
標準整備費(円/m)	680,000

人工地盤	0 円
-------------	-----

人工地盤の延べ面積(m ²)	
標準整備費(円/m ²)	5,300,000

協議して額を定める大規模構造物等	0 円
-------------------------	-----

大規模構造物等	協議状況	整備費(円)

Cnを考慮した場合の交付限度額(Y2)	289620 百万円
----------------------------	------------

要綱第5に掲げる式による限度額算定

交付対象事業費	基幹事業(A)	554 百万円
	提案事業(B)	11 百万円
	合計	565 百万円

[1]式	1=4(A+B)/5=	452
[2]式	2=10A/9=	616
	交付限度額(X)	227.6 百万円

- 交付要綱第5 3)式の適用(提案事業2割拡充)
- 平成20年度二次補正予算の執行
- 交付要綱第5 4)式の適用(中活等の45%拡充)
- 4)式の適用の場合、経過措置の適用

交付限度額算定表(その2)

可児市南西地区 (岐阜県可児市)

交付要綱第5に掲げる式による限度額算定(詳細)

水色のセルに事業費等必要事項を入力して下さい。(百万円単位)

単位:百万円

交付対象事業費(必ず入力) (百万円) (百万円)

交付対象事業費	基幹事業合計(A)	554.000	A (事業費)	1)式で求まる額(4/10*(A+B))	226.000	(国費)
	提案事業合計(B)	11.000	B (事業費)	2)式で求まる額(5/9*A)	307.778	(国費)
	合計(A+B)	565.000	(事業費)	上記、の小さい方	226.000	(国費)
	提案事業割合(B/(A+B))	0.020		国費率(÷(A+B))	0.400	(国費率)

拡充の有無

以下の3つの拡充のうち、いずれかの拡充がある場合は、該当する欄に を記入し、事業費等を入力。

・3)式の適用(提案事業2割拡充)		(選択)	3)式で求まる額(5/8*A)	0.000	(国費)
・平成20年度二次補正予算の執行		(選択)	3)式の適用後(適用がある場合は3式反映)	226.000	(国費)
・4)式の適用(中活等の45%拡充)		(選択)	3)式適用後の国費率(÷(A+B))	0.400	(国費率)

拡充がある場合の事業費等

平成20年度二次補正の執行がある場合及び4)式の適用がある場合は、以下に事業費等を入力。

平成20年度二次補正の執行がある場合	防災対象事業(A')	33.000	A' (事業費)	をA'に置き換えた額(A - (A-A')+9/8*A')	227.650	(国費)
	補正予算の執行額	9.000	(国費)	執行額を足した額	235.000	(国費)
				補正適用後(上記、の小さい方)	227.650	(国費)
				補正適用後の国費率(÷(A+B))	0.403	(国費率)

4)式の適用を受ける場合	計画の認定等の年度末までの執行事業費(F)		F (事業費)	適用前の国費率(÷(A+B))	0.403	(国費率)
	適用対象となる交付対象事業費(A"+B")	33.000	(事業費)			
	適用対象となる基幹事業合計(A")	33.000	A" (事業費)	適用対象事業費から求まる限度額	14.850	(国費)
	適用対象となる提案事業合計(B")		B" (事業費)	適用後の国費率(÷(A"+B"))	0.450	(国費率)
	適用対象事業のうち翌年度以降の執行事業費(H)		H (事業費)	4)式適用後の限度額(×F+ ×H)	0.000	(国費)

4)式の適用を受ける場合で、経過措置を適用しない場合(H21以降新規地区)は、Fの欄を記入せず、A"、B"を記入し、A"=A、B"=B、H=A"+B"=A+Bとなる。

拡充も考慮した交付限度額	227.650	(国費)
--------------	---------	------

交付限度額、国費率の算出

交付対象事業費(A+B)	565.0	(事業費)	交付要綱第5に基づく交付限度額(を1万円の位を切り捨て)	227.6	(国費)
			国費率	0.403	(国費率)